

～JAFSA50周年（2018年）に向かって～

特定非営利活動法人

JAFSA(国際教育交流協議会)団体正会員 ご入会のお誘い

JAFSAは、1968年に設立され、2003年に法人格を取得した特定非営利活動法人（NPO）です。約280の団体正会員（大学約230校・在日海外公館/教育関係機関約50団体）及び約50の賛助会員（ソーシャルビジネスパートナーとしての企業）、合計約330団体会員を有するJAFSAは、日本唯一の国際教育交流分野のネットワーク組織として、同分野に関する情報交換、研修、イベントの企画・運営・広報協力等の活動を通じ、会員の連携を強化しつつ、チームジャパンとして世界における日本の国際教育交流の推進に大きく寄与しています。

ボーダーレス化する世界で国際競争が激化するなか、教育分野、特に高等教育機関も国際的視野がないと生き残れない時代が来しました。日本政府が打ち出した「留学生30万人計画」「グローバル30」など海外からの留学生を増やしていくとともに、「グローバル人材の育成」「Go Global Japan (GGJ)」政策のように、日本人の学生を海外に送り出し、グローバルマインドを持つ人材を育成することも課題です。

また、あらゆる教育機関が、他機関との違い、地域との連携など各々の個性を明確に打ち出すだけでなく、日本全体（オールジャパン）での利害を越えた協力関係の基盤を確立することが必要となっています。JAFSAは非営利・非政府団体の特長を生かしつつ、省庁・企業などとも連携しながら、柔軟に事業展開しています。

2018年の50周年に向かって、JAFSAは今までの実績と経験を基に、さらに次へのステップへ進みます。この強力なネットワークに、ぜひ団体正会員としてご加入いただきますようお願い申し上げます。

1 活動内容・団体正会員のメリット

1) 幅広いネットワーキング

JAFSA の最大の強みはネットワーキングです。

JAFSA のネットワークは、国際教育交流を柱に、団体・機関の垣根を越えて全国に広がっています。JAFSA 会員に加入することで、このネットワークの一端を担うことになり、幅広い情報交換・活動が可能となります。

(1) セミナー・ワークショップへの参加

JAFSA では、年に数回、国際教育交流をテーマとしたセミナーやワークショップを会員向けに開催しています。情報収集、自己啓発の場として、また他機関の参加者との交流の場として、ぜひお役立てください。

また、団体会員の方にはイベント会場提供にご協力いただくことがあります。全国からの参加者に、貴校・貴機関のプレゼンスを示し、施設・キャンパス・活動内容などをアピールするまたとないチャンスです。

(2) イベント・セミナーの協力

貴団体開催のイベント・セミナー・研修に対し、JAFSA が共催・協力することができます。JAFSA 共催・協力は、団体会員の実施するイベントにのみ可能です。JAFSA と共催・協力することにより、JAFSA のネットワークを活用し、全国の JAFSA 会員へ幅広く募集・告知できるだけでなく、貴団体の活動内容を広く会員にアピールする機会ともなります。

(3) ICTの活用

JAFSA の会員専用メーリングリストには、約 2,500 以上のメールアドレスが登録されています。事務局からのお知らせメーリングリストでは団体正会員限定の情報を発信します。また会員専用の Web では、会員間の意見交換や Q&A が可能です。最新かつ正確な国際教育交流に関する情報の入手、大学・教育機関・企業の担当者との情報交換、賛助会員企業のサービス情報などを入手することにより、業務のアウトソースや効率化、新規事業開発などがより活発になることが期待されます。

(4) 海外教育機関とのグローバルネットワーク

NAFSA(米国)、EAIE(欧州)、APAIE (アジア太平洋地域)、KAIE(韓国)、FICHET(台湾)等、JAFSA の持つ世界規模のネットワークを活用することにより、諸外国の教育機関等

の国際交流担当者との連携が図れます。

JAFSA は、NAFSA 年次大会（5 月下旬）において Study in Japan として GGJ(Go Global Japan)、JASSO とともに、共同展示ブースを出展しています。また、EAIE 年次大会（9 月下旬）は JASSO と共同展示ブースで同様にアピールしています。APAIE 年次大会（3 月中旬）では JAFSA が単独で Study in Japan ブースを仕切っています。

これらに出展できるのは、団体会員です。団体会員として加入していただくことで、日本国内のみならず海外とのネットワークを広げるチャンスも得られるのです。

（５） 在日海外公館とのコラボレーション

JAFSA は、団体会員を対象に、米国大使館・アメリカンセンター・日米教育委員会（米国）、オーストラリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル（英国）、カナダ大使館、フランス政府留学局（フランス）、ドイツ学術交流会（ドイツ）など 在日海外公館等が開催する高等教育機関（大学）との交流会へのご参加の機会を提供しています。

（６） 各国内関係団体とのコラボレーション

（社）国立大学協会、日本私立大学協会、（社）日本私立大学連盟等との協力を図り、日本全体として、国際教育交流に力を入れています。

（７） ソーシャルビジネスパートナー（賛助会員）とのコラボレーション

企業で賛助会員として加盟されている企業メンバーは、ソーシャルビジネスに真剣に取り組んでいます。留学生の宿舎や就職支援などアウトソースが可能な分野で、団体会員大学と賛助会員企業のコラボレーションが始まっています。団体会員間だけでなく、賛助会員とのネットワークもぜひご活用ください。

2) プロフェッショナルとしての研修

（１） 定例研修

JAFSA では、PDP（=Professional Development Program/国際交流担当者のプロとして初任者から上級者に至るさまざまな専門能力とスキルを身に付けるための研修プログラム）や、実務に役立つ語学のスキルアッププログラムを用意しています。ぜひ貴機関のご担当者のスキルアップにお役だてください。

※詳しくは、JAFSA ホームページをご覧ください。

（２） 各大学との共催など

各大学と共催・協力し研修やセミナーを適宜実施しています。

3) 受入れ実務等の負担軽減

(1) 中国学位・学歴認証システム登録業務

中国からの留学生受入れに際し、大学統一試験合格認証を始め、さまざまな認証システムを活用することで、受入れ部署の負担を減らすことが可能です。JAFSA は (財) 日本語教育振興協会と協議を重ね、2009 年 12 月よりシステムの登録業務を行っています。ご利用できるのは団体正会員 (大学) のみです (有料)。

2 会員としての義務

定款等規約類を遵守し会費を納めていただく以外には厳密な意味の「義務」はありません。日頃から JAFSA の活動を積極的にご活用ください。また新しい企画やご要望があれば、ぜひ事務局へお知らせください。また、年一度の総会には議決権を持っておられる関係でぜひご参加いただき、運営に関してご意見を賜れば幸いです。

3 年会費および入会手続

団体正会員年会費(4月～翌年3月)は、大学は 50,000 円～200,000 円 (学生規模数に応じる)、その他団体は 100,000 円を承ります。詳細は Web をご覧ください。年度途中でのご入会の場合は別途ご案内いたします。

入会手続きは簡単です。ホームページより入会申込書をダウンロード、ご記入・ご捺印の上、当事務局宛にメールして下さい。原本はご捺印の上別途郵送ください。入会申込書受領後、会費納入のご案内等を事務局よりご連絡いたします。

4 最後に

より多くの大学・教育機関・企業が JAFSA 会員となり、産学官連携して社会的活動を実施することで、高等教育における国際化の認知度も高まると信じます。

JAFSA は国際教育交流では日本最大の民間ネットワーク組織です。

貴大学・貴機関のご加入を心よりお待ちしております！！

お問合せは今すぐ下記 JAFSA 事務局へ！！



特定非営利活動法人 JAFSA (国際教育交流協議会) 事務局

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 538 平成ビル 5F

TEL: 03-5155-3780

FAX: 03-5155-3786

E-mail: info@jafsa.org

URL: <http://www.jafsa.org>